



皆様アロハ！

今年 30 回目を迎えるホノルル フェスティバルでは、長年に渡り本フェスティバルを意義深いイベントへと育てていただいたすべての皆様へ、そして今年も多大なご支援とご参加をいただいたすべての皆様へ、ハワイ地元皆様の熱い思いを込めて「アロハそしてマハロー 文化の祭典 30 年」をテーマといたしました。

市内 4 か所でのパフォーマンスステージ（ハワイ・コンベンションセンター、アラモアナセンター、ワイキキ・ビーチ・ウォーク、インターナショナル・マーケットプレイス）、コンベンションセンターでの多様なイベントやブース展示、ワイキキでのグランドパレードや長岡花火など、街中での文化交流を実現するには、毎年多くの皆様からのお力添えが欠かせません。ホノルル フェスティバル財団一同より、グリーン・ハワイ州知事、ブランジアーディ・ホノルル市長、長徳ホノルル日本国総領事、企業スポンサーの皆様、運営に携わっている皆様、日本はじめ環太平洋からご参加いただく団体の皆様、そして多くの献身的なボランティアの皆様からの多大なご支援に心より感謝申し上げます。

また、毎年会場に足を運び文化交流を体験し、楽しんでくださるハワイ在住や来訪者の皆様の継続的なご支援にも深く感謝しています。文化継承と出会いの場としてフェスティバルが発展してこられたのは皆様のおかげです。

今年のホノルル フェスティバルは、日本や環太平洋地域から昨年を超える多くの参加者がお越しになります。インターナショナル・マーケットプレイスに新たなステージを設置し、多様な文化パフォーマンスを楽しめる機会を増やしました。ブース出展数が過去最大規模となるコンベンションセンター会場では、3月14日（土）の開場と同時に、30回記念の鏡開きとマグロ解体ショーが行われます。また3月15日（日）のパレード直後には、クヒオビーチ付近にてマハローセレモニーを開催いたします。

今年もホノルル フェスティバルでは、あらゆる世代の方々が見て、体験して、楽しめる魅力溢れるプログラムを数多く用意しております。ホノルル フェスティバル財団を代表し、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

マハロ

ホノルル フェスティバル財団
理事長 久保 哲也